

JARL 香川クラブ報

No. 357 平成20年2月15日



J A 5 Y D E

通常総会のご案内

平成19年度も残すところ後わずかとなりました。
そこで、クラブの通常総会を下記の通り行います。
年度末の大変お忙しい時期ではありますが、趣味の会ですので役員任せにするのではなく、
会員一人一人が積極的に参加するクラブであるためにも万障お繰り合わせの上出席下さい
ますようお願いいたします。

**なお、出席の有無に関わらず同封しております葉書(欠席の場合は委任状)に近況などをご
記入の上必ずご返送下さいますようお願いいたします。**

記

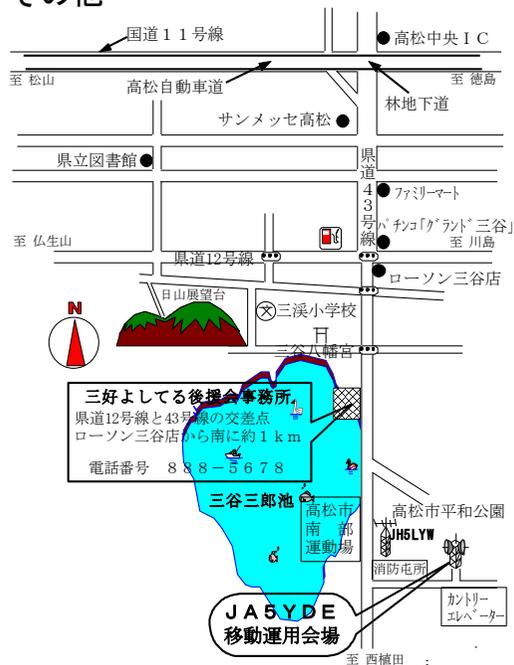
日時：3月9日(日)

13:30~15:30

場所：高松市三谷町

三好事務所(下図)

- 議題：1. 平成19年度事業報告
2. 平成19年度会計報告
3. 役員改正
4. 平成20年度事業計画案
5. その他



大盛況の忘年会

12月22日に「居酒屋あかちょうちん」忘年会が開催されました。
当日は雨が降る寒い日となりましたが、各OMご出席になられ大いに盛り上がりました。



当クラブの「2007年香川マラソンコンテスト」の集計が三好会長より発表されました。

「今年も15日間途切れることなく、無事にコンテストを終了できました。」旨の話がありました。

今回、忘年会に参加できなかった方も次回はぜひ参加下さい。

<参加者> JA5MG/JA5UY/JA5AHM/JA5IZL/JA5TFJ/JH5LYW/JH5PMZ/JE5PBO/JG5OBX/JI5XTP

2007香川マラソンコンテスト集計表						
日付	交信数	区 分				
		バンド	局数	地域マルチ	モード	局数
1日	20					
2日	47	1.9MHz	8	6	CW	61
3日	2	3.5MHz	19	6		
4日	4	7MHz	35	8	SSB	160
5日	36	14MHz	18	7		
6日	8	21MHz	35	10		
7日	17	28MHz	26	7	FM	117
8日	48	50MHz	28	8		
9日	39	144MHz	79	16		
10日	8	430MHz	84	14		
11日	10	1200MHz	6	3		
12日	4	交信局数 地域マルチ 日数マルチ				
13日	6	合計 287 × (85 + 15) = 28,700				
14日	32	(総交信数338局、県外局とダブりを除く有効局数287局)				
15日	57	OP: JA5TFJ/JH5EZB/JH5LYW/JF5ICA/JG5OBX/JI5XTP)				

<参考 : 2003年11,859点、2004年17,408点、2005年33,852点、2006年20,202点>

香川マラソンコンテスト結果発表

「JA5YDE/5」香川マラソンコンテストオペレータの各局お疲れさまでした。また、クラブコールにサービスいただきましたクラブ員の各局ありがとうございました。おかげで、今年も15日間途切れることなく完走することができました。入賞することより、完走することと参加することに重きをおいて、毎年参加していますが、クラブ員各位のご協力で初期の目的を達成することができました。おまけと言っては何ですが、社団の部でみごと1位に輝きました。これを機に、クラブの活動がさらにアクティブになりますようこれからもご協力をお願いしますとともに、今年ログ提出ができなかった方は、ぜひ来年はコンテストに積極的に参加し、ログを提出するようお願いいたします。

話は逸れますが、社会も人生も全てにおいて、一人一人のちょっとした心構えや行動が、やがて山となりうねりとなり世の中を変えて行くのだと信じております。何事にも言えますが、自分ができないこと（しないこと）を棚に上げて、仕事や時間のせいに忙しいことを口実（私自身も往々にして流されることがありますが）にしたり、他人のせいをしたり、また自分に興味の無いことを認めようとしないなんてのは寂しいですよ。

某県の知事じゃないですが「どげんかせないかん」

何事もやらなければ始まりませんよ。さぁ始めましょう。

クラブ員の入賞者

社団局マルチバンド・マルチモードの部	1位	JA5YDE
個人局マルチバンド・マルチモードの部	3位	JI5XTP
個人局7MHz帯電信電話の部	1位	JA5TFJ
個人局430MHz帯電信電話の部	2位	JI5SAO
個人局1200MHz帯電信電話の部	1位	JH5EZB

コンテストログ提出局

総数60局 クラブ員8局

(2005年は総数71局 クラブ員12局、2006年は総数53局 クラブ員10局)

※資料はJARL香川県支部のHPを参照

アクティビティーアワード2007

CQ出版社から2007年1月1日～12月31日の間の交信を対象にしたFBなアワードが発行されています。

昨年一年間の交信記録を整理し、このアワードにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。申請料は安価ですし、条件も比較的簡単で、アワードデザインは素敵です。申込みは2008年3月31日までですので、シャックに一枚いかがですか。

詳しくはCQ誌をご覧になるか、CQ出版社のホームページをご覧になってください。

1stQSO と全日本 ARDF 競技大会

de JH5LYW

前回よりの続きです

次は記念局。ポケクを下げて運用会場を覗くと電鍵を叩いてる者、マイクに向かって叫んでいる者、何かしら懐かしく感じた。スタッフに「誰か時間が取れば 50.180MHzSSB で電波を出して欲しい」とお願いして、ローで待機することにした。

待つこと 10 数分。突如ポケクから『CQCQ こちらは 8J3ARDF 三木市どうぞ』の声。恐る恐る呼び掛けると『JH5LYW/3 こちらは 8J3ARDF 5&9 です。どうぞ』との返答。「5&9 です。QRPp を明記していただけますか』『何ワットですか』『正確には判りませんが 10 ミリワットぐらいの自作トランシーバーです』『それは FB ですね。QRPp さらに p ですね。必ず明記します』こうしてポケク初 QSO が成立した。

18:00 から体育館で全日本 ARDF 競技大会の開会式。

原会長はじめ来賓のあいさつ、審判長の注意も終わり、エキシビジョン大会の表彰式がおこなわれた。

「M50 クラス第 2 位 JH5LYW 三好さん」名前は呼ばれたが表彰は一位の選手のみ。「後の人は開会式終了後取りに来てください」と。「まあ、別に構わないけど・・・」

前夜祭は、飲み物や料理がどんどん追加され、この手のイベントとしては満足できるものであった。あつという間に時間も過ぎ去り 23 時過ぎに床に就いた。

ふと誰かの鼾で目が覚めた。時計を見るとまだ 4 時前。眠ろうとするが気になって眠れない。悶々としながら夜明けを待った。

朝食も済ませ、外に出て準備をしていると、当日参加組の JF5ICA、JF5ICB、JG5WTP、JI5XTP クラブメンバーの他、香川県各局と合流することができた。

スタート場所までバスで移動。競技場やかく乱のためかなり大回りをして着いた。地元選手の TX 配置予想に耳を傾けながら、いよいよ大会が始まった。12 組のスタートのためかなり待たされる。



けても強さが変わらない。ふと後ろに受信機を向けると強烈に入感する。「えっ？」山の中腹

受信開始して三叉路に突き当たった。左に折れて下から攻めることにした。目指す第 3TX は山の向こうと判断し一気に突っ走る。途中谷間に入る小道があり、一度足を踏み入れ少し進んでみたが「もう少し向こうではないか」と思い直し、もう一山向こう側に行くことにした。「さあ、受信開始」何と後ろから聞こえてくる。「あちゃー、やっぱりさっきの谷か」情けなくなりながらも谷に入るが途中から 3 つに分岐している。

仕方ないので次の信号を待つことにした。信号が出だした。どちらに向

に赤白のフラッグが見えている。「なぜ、うろうろしている時にそちらに目を向けなかったのか」と悔やまれる。急斜面を滑りながらやっとゲットした。

次は第4TX。走っていると新潟の丸山OMに追いついた。以前の全日本大会で二度ほど競技中に一緒になり、お互いに引っ張り合う形になり失敗していたので、今回も嫌な予感がした。

「二度あることは三度かな？」と思いながら、今回も山道を前後しながら進む。どんどん第4TXから離れてスタート方向へ。

「これではいけない」と思いながら、もうどうしようもない。この期に及んで引き返す訳にも行かず道なりに進むとゴール入口の横ビコン信号の干渉を受けながら通り過ぎ広場に出た。丸山OMは左に向かったが、踏みとどまり測向することにした。第4TXが近い。しかし次の第5TXが出だすと方向は反対だが強烈に入感してきた。

第1TXも待てば良かったのに。そこがこの競技でもう一皮向けない自分がいる。

第5TX、第4TXと続けてゲットし残るのは第1TXのみだが、先ほどたった一分間が待てなかったばかりに、ここでまた行ったり来たり。道に出ず山谷を上ったり下りたり。眼鏡やイヤホンや杖に叩かれながら、やっとゲット。

さらに見境なく、また山に突っ込みゴールを目指す。

先ほどのゴール入口にたどり着くと、かなり高く急な階段の上がゴールとなっている。

一段飛ばしで一気に上り詰めゴールした。目の前に丸山OMがニヤニヤしながら立っている。「今ゴールしたところ、三好さんが上がってくるのがわかったから待っていたよ」とのこと。「やれやれ、今回もあんたに会ったから気負ってしまったよ」と、内心思いながら健闘を称えあつた。



案の定、速報を見ると丸山OMが5位。そして6位に私のコールサインが・・・。

所要タイムは1時間22分56秒。最後まで順位は変わらなかった。

詫間OMが「3.5MHz受信機のことと製作者の柴田氏と打ち合わせがある」と言うことで、それを待って帰路に着いた。

各局とも反省。そして反省。

「出るは溜息ばかりな♪あ～♪り～♪」と。

無事高松について、お互い次の大会でのリベンジを誓って解散した。

後日、正式順位が発表されたが、いつの間にか7位になっていた。???

ちなみに、山田OMは皆の意見を無視して本大会にも参加したので、足の具合を心配していたのだが、思っていたほど重症ではなかったようである。

しかし、彼から出た言葉は「今年はもう後の大会に参加せず、完全に足を治す」とのこと。

「ほんまかいな？」

完

今回は兵庫県の開催ということで、香川県からは前泊組と当日組の2組に分かれての参加となりました。次回は鹿児島です。

ハムフェスティバル in 香川

JARL香川県支部主催で『ハムフェスティバル in 香川』が下記のとおり開催されます。
年に一度の県内ハムの祭典です。

ローカル各局お誘い合わせ上、多数御参加下さいますようご案内申し上げます。

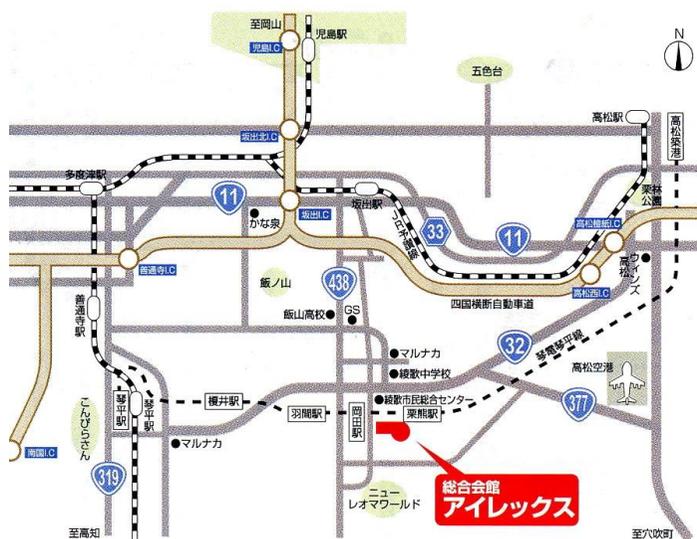
記

日時 平成20年3月16日(日) 13時～16時
(但し受付は11時～13時30分迄)

会場 丸亀市綾歌総合文化会館
愛称『アイレックス』 (昨年と同じ会場)

国道32号線 綾歌市民総合センター南側
琴電・琴平線 栗熊駅下車 徒歩 約10分
駐車場 会場南側 (無料)

式次第 行事・予算・監査指導概要報告
講演 1.『新公益法人改革への取組』
(JA5MG 稲毛 章 OM)
2.香川大学の宇宙開発 since2005
(能見公博准教授と香川大学生)
3.AEDを使った心肺蘇生
各種コンテスト表彰、お楽しみ抽選会



※資料はJARL香川県支部のHPを参照

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。
今年がクラブ結成59年目(1948年10月結成)になります。
そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集
にご協力ください。

JARL香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせを
していますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、そ
の都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している
方は、差し支えなければ連絡下さい。

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成19年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好伸幸
編集者	J15XTP	坂内信洋
	JG5OBX	丸山博
	JH5WMN	山口博司
	JE5PBO	岡田光